

富山電気 株式会社

DX宣言書

2024年11月18日
富山電気 株式会社
代表取締役 富山 洋

□ 経営理念

経営基盤を確立し、事業を通じて社会に貢献する
プロにふさわしい技術を身につけよう
個々のレベルアップこそ成長力、高生産性を生む
個性が光る社風を創造する

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社員が成長し続けることができ、家族と過ごす時間も確保できる、ワークライフバランスを重視した働きやすい職場を整備します
- ◆ デジタル技術を活用して業務の効率化を図り、迅速かつ柔軟に仕事を進められる環境を整備するとともにお客さまや協力会社と連携したDX化を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年5月)

戦略 「全体最適に向けた現状整理と課題の見える化および計画策定」

- 施策
- ・ 導入済みシステムの活用状況や現状の課題を把握するため、社内アンケートやヒアリングによる現状分析を実施
 - ・ 現状分析に基づく課題・悩み(将来的に予測される課題も含む)を言語化
 - ・ 課題解決の優先順位や各対応策の費用対効果等を検討し、DX実行計画を策定
 - ・ DX推進チームを立ち上げ、外部専門家の意見も参考にしながらDXビジョン実現に向けた推進体制を構築

➤ フェーズ2(2025年6月 ～ 2026年11月)

戦略 「業務効率化に向けたDX実行計画の実施」

- 施策
- ・ DX実行計画に基づいて、導入済みシステムを最大限活用
 - ・ 情報のデータベース化と業務のトレーサビリティ管理に向け、社内ルールを整備(管理コードの統一等)
 - ・ ノウハウの共有や業務効率化のため、過去の見積もりや案件情報のデータベースを構築
 - ・ 業務標準化のため、作業手順書やISO業務マニュアルを整理・最新化
 - ・ DX推進の目的やメリットを周知するため勉強会を開催

➤ フェーズ3(2026年6月 ～ 2027年5月)

戦略 「業務効率化によって得られた時間の活用と、更なるDX化に向けた施策の検討」

- 施策
- ・ 社員の成長を支援するキャリア別研修を実施
 - ・ 採用活動の一環として、ホームページやSNSを活用し、これまでのDXへの取り組みを社外へ発信
 - ・ 社員が主体となり、お客さまや協力会社と連携した更なるDX化に向けた取り組みを検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役をDX推進における実務執行統括責任者とします
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ マニュアル整備 : 完了(～2026年11月)
- ・ 年次有給休暇取得率 : 60%以上(～2027年3月)
- ・ 人時生産性 : 2024年度比 10%増(～2027年3月)
- ・ 顧客リピート率 : 80%以上(～2027年3月)